

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	集会所整備事業			
予算科目	2 款 1 項 14 目			
総合計画での位置付け	参画と協働の郷(くに)づくり 住民自治の推進			
所管課情報	担当課:	総務企画課	電話番号(内線):	650
記入者情報	所属長:	坪内 圭也	担当責任者:	高橋 洋司
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 21 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	地縁団体又は住民自治組織を単位として設置され自治組織等が維持管理する集会施設			
根拠法令等	伊予市集会所整備事業実施要綱			
事業の目的	参画と協働の郷づくりを推進するため、地域の問題解決、地域における公共的活動及び新たな地域づくり活動等の拠点として活用する集会施設について、新築・改築又は増築を行うことを目的とする。			
事業の内容	集会施設の新築・改築又は増築(市負担額は対象事業費の6割)			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	工事単価の見直しを検討する。			
改善策の 具体的 取り組み	本事業が円滑に推進できるよう、制度の見直しを含めて検討する。			

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	883	18,816	0	15,869
	人件費	159	161	80	161
	合計	0	18,977	80	16,030
人件費 内訳	人工数	0.02	0.02	0.01	0.02
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	159	160	80	160
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	358	7,536	0	6,354
	一般財源	684	11,441	80	9,676

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
事業実施集会施設	件	1	1	0	1

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	指標を設定しない。			
指標設定の考え方	補助対象により成果が異なるため、特定の指標を設定することができない。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	0	0	0	0
実 績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	工事費の削減、事務の軽減、負担割合の見直しなど多くの課題があるが、最適な制度に見直すためには、本制度の活用実績が少な過ぎる。今後、現有施設の老朽化が顕著になることを想定した上で、制度を見直しておくことが重要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域の自治活動の場として集会所は必要不可欠の施設であるため、工事費の削減、事務の軽減、負担割合の見直しなど多くの課題があるが、最適な制度に見直すためには、本制度の活用実績が少な過ぎる。今後、現有施設の老朽化が顕著になることを想定した上で、制度を見直しておくことが重要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	本事業は、市単独事業であり、財源の確保は今後ますます困難となる。新築・改築は、事業費も多くなるため、改修により長寿命化を図るための補助制度を検討する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。